

《公開用感染制御感染経路別予防策相談事例集(Q&A)》

相談事例No. 40

区分 洗浄・消毒・滅菌・再利用

【質問】

透析室における環境整備への取り組みの一つとして、血圧計のマンシエット、駆血帯、各ベッドに備え付けのリモコンなどのノンクリティカル器具を毎回清拭していますが、洗浄・消毒の手法としてこのやり方で良いでしょうか？

【回答】

透析室で使用しているノンクリティカル器具を毎回清拭して洗浄・消毒することは適切な方法です。ノンクリティカル器具の洗浄・消毒に関しては、日本透析医会が公開している『透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（六訂版）』の第3章 標準的洗浄・消毒・滅菌、II 器具・器材の洗浄・消毒の項で、『3) ノンクリティカル器具を患者間で共有する場合は、使用ごとに血液媒介ウイルス（特にB型肝炎ウイルス〔HBV〕）の伝搬遮断に有効な洗浄・消毒を行うことを推奨する（強い推奨・中程度の確信）』と記載されています。

血圧計のマンシエットや駆血帯など、健全な（傷のない）皮膚に接触するが粘膜などには接触しない器具（ノンクリティカル器具）では、通常、その器具を介して微生物が伝搬するリスクは許容される程度の低さであると考えられます。しかしながら、透析室で使用する器具は血液による汚染が頻繁に発生するため、HBVやC型肝炎ウイルス（HCV）が付着している可能性を念頭に置き、ノンクリティカル器具でも患者間で共有する場合は、使用ごとに洗浄・清拭を行ったうえで、熱水消毒や次亜塩素酸ナトリウム液・アルコール類などによる中水準消毒を施すことが推奨されています。また、このような洗浄・消毒が難しい器具に対しては、環境クロス（洗浄成分と消毒成分を含有した大判・厚手クロス）を用いて器具を清拭することで理論上はおおむね同等の効果が期待できます。

汚染したシーツ類や吸引器などでは、0.1%（1,000ppm）次亜塩素酸ナトリウム液への30分間の浸漬もしくは0.01%（100ppm）次亜塩素酸ナトリウム液への1時間の浸漬により十分な消毒効果が得られます。

駆血帯やコッヘルなどは、明らかな血液汚染がない場合、0.01%（100ppm）次亜塩素酸ナトリウム液に20分間浸漬することにより微生物伝播のリスクが低減されます。これらの器具は構造が複雑でないため、環境クロスでの清拭でも次亜塩素酸ナトリウム液への浸漬と同様の効果が期待できるものと考えられます。一方で、血液汚染がある場合は、消毒前に適切に洗浄を行う必要があります。洗浄は、通常、水と洗浄剤または中性・酵素系洗剤を使用して行いますが、このほか、用手洗浄や、超音波洗浄機やウォッシャーディスインプクターによる機械洗浄といった方法もあります。また、駆血帯などは、ディスポーザ

ブル製品の使用も選択肢の一つとなります。単回使用とすることにより、患者間での微生物伝播の可能性を排除することができ、頻回の洗浄による手間を削減することもできます。

透析室内の各ベッドに備え付けのリモコンなどは、同ガイドラインでは、透析ベッド周辺にあるノンクリティカル環境表面に分類されます。これらに対しても、次亜塩素酸ナトリウム液やアルコール類などによる中水準消毒を施すことが推奨されています。なお、金属腐食性をもつ消毒薬を選択する場合、金属部分への使用後は速やかに水拭きを行うなどの配慮が必要になります。

表1 Spaulding の分類に基づく透析室の器具・環境表面の処理方法

器具分類	使用目的	器具例	消毒水準	処理法
カク リ テ イ 器 具	無菌組織や血管系に挿入するもの <感染リスク高い>	穿刺針, ダイアライザ, 血液回路, ドレッシング材, 手術用具	洗 浄 + 滅 菌	高圧蒸気滅菌・プラズマ滅菌・EOG 滅菌
				化学的滅菌剤 (グルタラール 10 時間浸漬)
セ ミ ク リ テ イ カ ル 器 具	正常な粘膜, 体液または傷のある皮膚に接触するもの <感染リスク中等度>	呼吸器療法器具 軟性内視鏡 麻酔器具 気管内挿管チューブ	洗 浄 + 高水準消毒	熱水消毒 (ウォッシュャーデイスインフェクター) グルタラール, フタラール, 過酢酸 高濃度 (0.1 % 以上) の次亜塩素酸ナトリウム 30 分浸漬
		直腸・口腔体温計 ネプライザー関連器具	洗 浄 + 中水準消毒	0.01 % 次亜塩素酸ナトリウム 1 時間浸漬 アルコール系消毒薬
		超音波プローブ (経皮的インターベンション)	洗 浄 + 中水準消毒	製造販売業者の指定する薬剤・方法
ノ ン ク リ テ イ カ ル 器 具	無傷な皮膚に接触するもの, 但し, 粘膜には接触しない 通常は <感染リスク低い> 透析室では血液媒介ウイルス (HBV・HCV) への対応が重要	血圧計のカフ, 聴診器, 体温計, 鉗子, トレイ, ベッドパン, 膿盆	洗 浄 + 中水準消毒	熱水消毒 (ウォッシュャーデイスインフェクター, ベッドパンウォッシュャー) 0.1 % 次亜塩素酸ナトリウム 30 分浸漬 ペルオキシソール硫酸水素カリウム配合剤による清拭 アルコール系消毒薬による清拭
		超音波プローブ (体外超音波プローブ)	洗 浄 + 中水準 低水準 消毒	製造販売業者の指定する薬剤・方法
ノ ン ク リ テ イ カ ル 環 境 表 面		<透析ベッド周辺> 透析装置外装, ベッド柵オーバーテーブル, 椅子, 超音波診断装置 (プローブ以外)	洗 浄 + 中水準 消毒	0.05~0.1 % 次亜塩素酸ナトリウムによる清拭 ペルオキシソール硫酸水素カリウム配合剤による清拭 アルコール系消毒薬による清拭
		<手指高頻度接触面> 体重計の手すり, 患者控室の椅子, 車椅子, ドアノブ	洗浄・清掃 <適宜> 中水準 低水準 消毒	洗剤による 1 回/日以上の湿式清拭が基本 リスクの程度に応じて低水準消毒 アルコール消毒
		手指 低頻度接 触面	<水平面> 床, 敷居 <垂直面> 壁, フラインド, カーテン	洗浄・清掃 消毒なし 洗浄・清掃 消毒なし

(文献 12) より一部改変)

出典：日本透析医会：透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（六訂版）P43

《参考文献》

日本透析医会：透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（六訂版）P41-43